

◎注意事項をよくお読み下さい

# りそな 経済フラッシュ

## (日本11月機械受注)

2019/1/16

りそなホールディングス 市場企画部

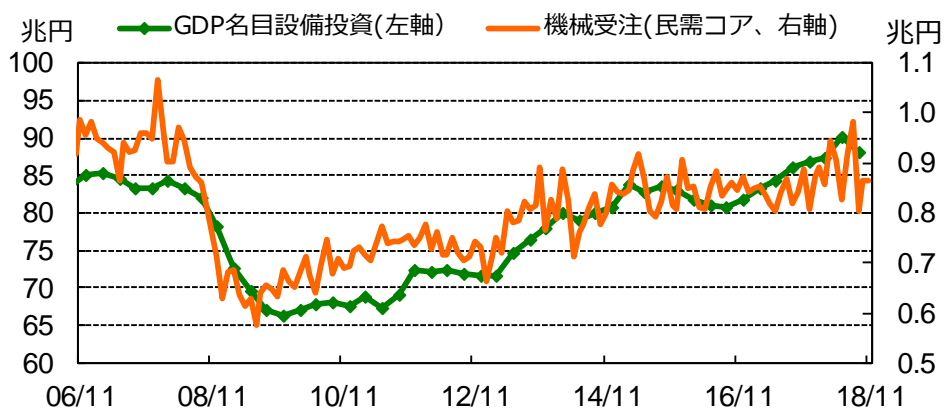


### 〇概況

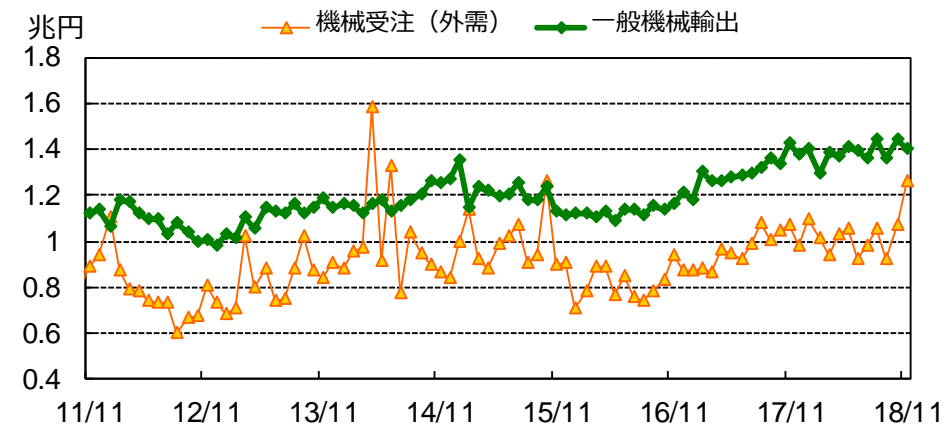
- ◆ 11月機械受注、船舶・電力を除く民需は前月比0.0%
- ◆ 10-12月期は前期比マイナスの可能性が高い
- ◆ 内閣府は受注判断を「持ち直しの動きに足踏みがみられる」と据え置き

- ✓ 11月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間からの受注額（民需コア）は前月比+0.0%の8,631億円と、市場予想（+3.0%）を下回った(10月+7.6%の8,632億円)。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「持ち直しの動きに足踏みがみられる」と据え置き。尚、9月時点の民需コア10-12月期の受注見通しでは+3.6%と増加が見込まれていたが、10、11月の推移から12月の大幅増がなければ前期比マイナス着地の見通し。
- ✓ 11月の受注総額は前月比+8.3%の2兆8,506億円(10月+19.5%の2兆6,317億円)。
- ✓ 製造業は▲6.4%の3,957億円(10月+12.3%の4,226億円)と減少。業種別では17業種中9業種が減少。非鉄金属、食品製造業、造船業などが減少。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は+2.5%の4,650億円(10月+4.5%の4,537億円)と増加。非製造業全体の業種別では12業種中6業種が増加。不動産業、鉱業・採石業・砂利採取業、運輸業・郵便業などが増加。
- ✓ 官公需は▲26.8%の2,649億円(10月+25.0%の3,620億円)と減少。防衛省、その他官公需が減少。
- ✓ 外需は+18.5%の1兆2,649億円(10月+15.5%の1兆0,675億円)と増加。産業機械、電子・通信機械が増加。
- ✓ 代理店経由は▲4.0%の1,291億円(10月+7.8%の1,345億円)と減少。重電機、道路車両等が減少。

### 【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



### 【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター